

# 「旅の図書館」

「旅の図書館」は、(財)日本交通公社が公益事業の一環として観光文化の振興を願い、1978年に開設した専門図書館です。2008年10月に30周年を迎えました。

<b>蔵書</b>	<p>08年度末時点での蔵書数は約3万2,000冊（日本語2万9,000冊、外国語3,000冊）。「旅行先を調べる」という利用目的が多いことから、日本各地・世界各国の旅行・観光に関するガイドブック、地図、時刻表、紀行文、写真集、旅行雑誌のほか、市町村や各国政府観光局発行のパンフレット（国内約1,500市町村、海外約160カ国）、新聞記事クリッピングなどを県別・国別に配架し、利用者が自由に手に取って見ることができる。</p> <p>年間の利用図書を見ると、海外に関する日本語版ガイドブックの利用が7割を占め、また最近では洋書のガイドブックに対しての要望も増えており、バックパッカーに人気のガイドブック『ロンリー・プラネット』はシリーズ約300冊をそろえている（日本語版も所蔵）。『JTB時刻表』のバックナンバーも複製版や寄贈によって充実させており、1872年（明治5年）5月号から09年12月号まで約600冊の閲覧が可能である（一部欠号あり）。</p> <p>雑誌は約150種類閲覧可能で、そのうち機内誌が約50種類ある。</p> <p>観光関連資料としては、(財)日本交通公社が発行している機関誌、調査統計、調査報告書（一部）のほか、ツーリズム産業関連の資料、大学の紀要、学会論文集、業界誌バックナンバー、観光関係会社社史などもそろえている。</p>
<b>デジタル画像</b>	<p>かつて発行されていた旅行関係雑誌『旅』（1924年～74年）ならびに『ツーリスト』（1913年創刊～43年最終号）をデジタル化。ホームページ上で目次を公開し、検索・閲覧ができる（著作権を有する資料であるため、画像は館内閲覧のみ）。</p>
<b>その他業</b>	<p>図書館利用者を対象に、年2回、「旅の図書館講座」を開催している（詳細は「旅の図書館講座」ページ参照）。</p>
<b>利用者</b>	<p>07年度は2万933人（1日平均86.5人）、08年度は2万650人（同86.0人）。</p> <p>08年度の利用者のプロフィールは、男性75%、女性25%で、50代が最も多く23%、次いで30代の22%であった。職業別では会社員が44%と最も多く、次いで無職20%、主婦16%であった。利用目的では、「旅行先を調べる」が35%、次いで「仕事の資料探し」が24%。評価については、82%が「満足（十分満足+まあまあ満足）」としている。</p>



## ★基本情報

住所：東京都千代田区丸の内1-8-2 第二鉄鋼ビル地下1階

電話：03-3214-6051

ホームページ：<http://www.jtb.or.jp/library/>

開館：月曜～金曜日 10時～17時30分

休館：土・日曜・祝日・年末年始

交通：JR 東京駅八重洲北口から徒歩2分